
事業所意向調査結果報告書

I. 調査概要

1. 調査目的

このアンケート調査は、平成30年度から始まる「第3次守口市地域福祉計画」の策定に向け、市内の福祉事業所に対して、地域での福祉活動の参加状況などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査対象

守口市内の福祉事業所 200ヶ所

3. 調査方法

郵送による配布、回収

4. 調査期間

調査票の発送・回収：平成29年8月14日から8月31日まで

5. 調査の配布数と回収数

配布数	回収数	回収率
200	113	56.5%

6. 報告書の見方・留意点

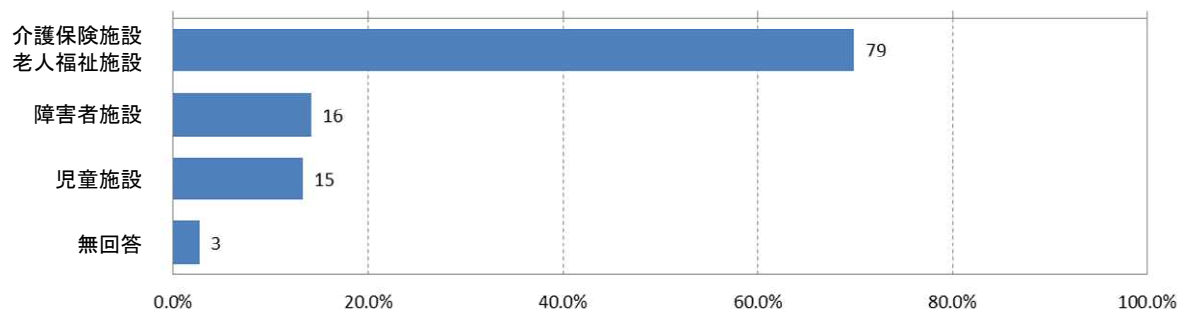
○棒グラフに記載の数値は回答いただいた実数です。横軸の数値(%)は、回収数(113)に対する割合を表しています。(問17、18を除く)

○構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100となりません。

○クロス集計の網掛けは、順位が高くなるほど網掛けの色が濃くなっており、第2位まで網掛けをしています。

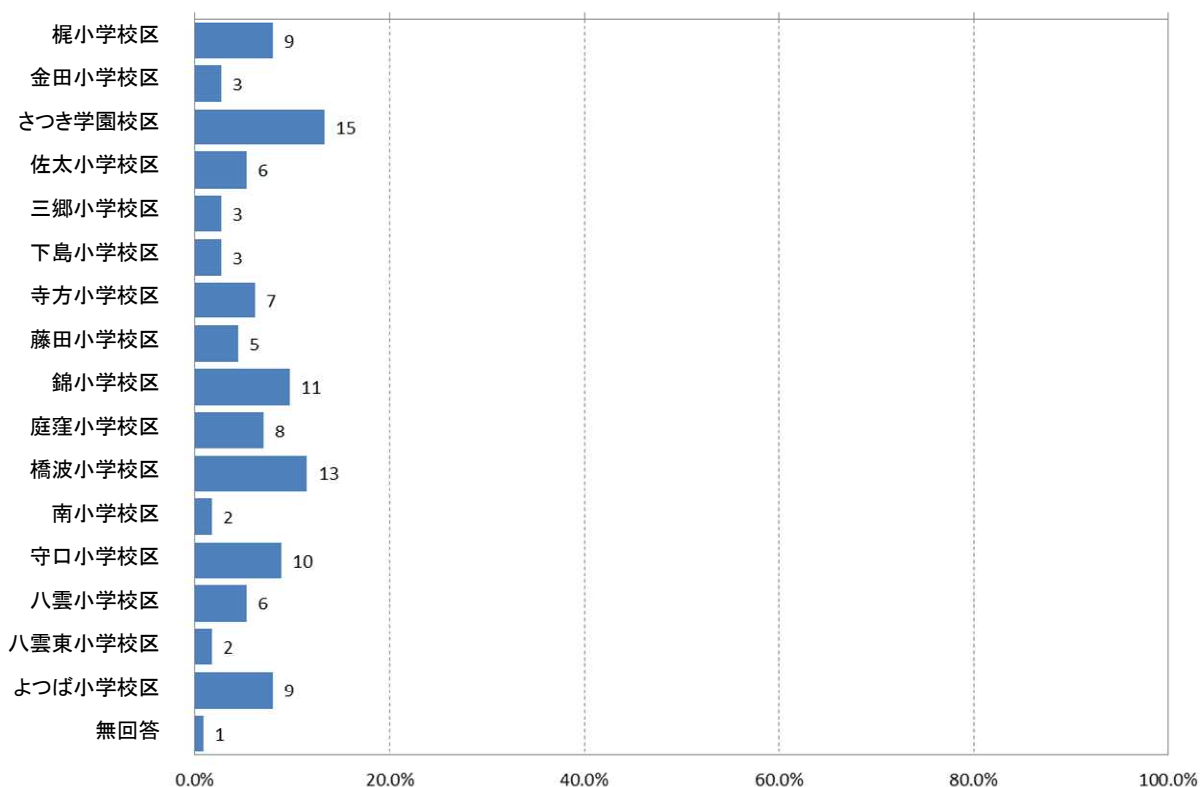
事業所の現状について

問1 貴事業所の形態は、次のうちどれですか。(1つに○)



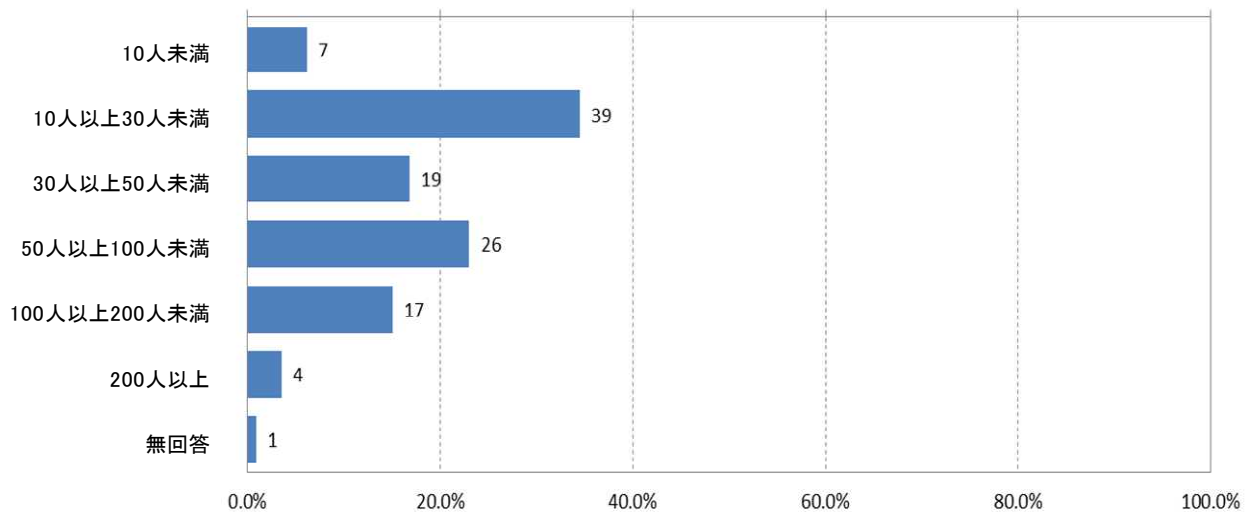
「介護保険施設・老人福祉施設」が69.9%、「障害者施設」が14.2%、「児童施設」が13.3%となっています。

問2 貴事業所が所在する小学校区は、次のうちどれですか。(1つに○)



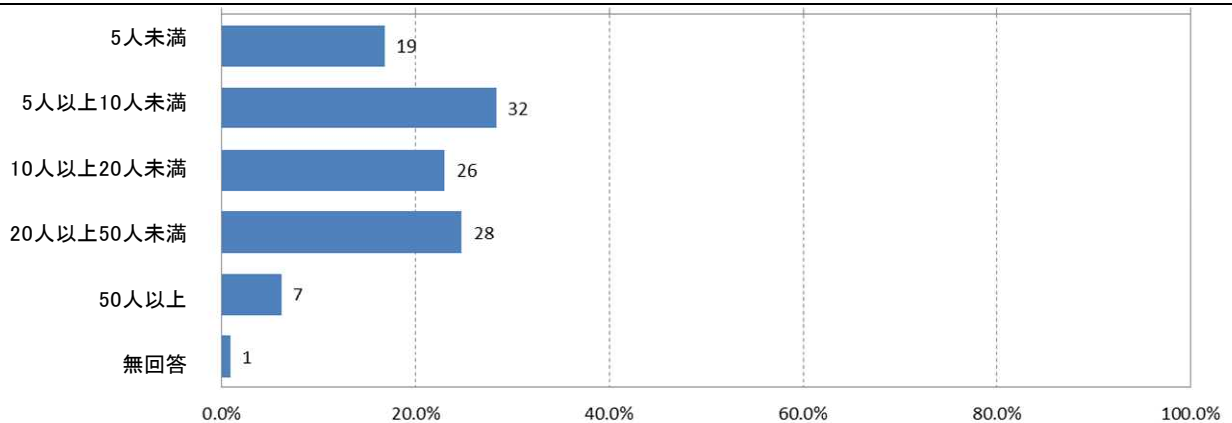
「さつき学園校区」が13.3%で最も多く、「橋波小学校区」(11.5%)と「錦小学校区」(9.7%)が続いています。

問3 貴事業所の利用者数は、次のうちどれですか。(1つに○)



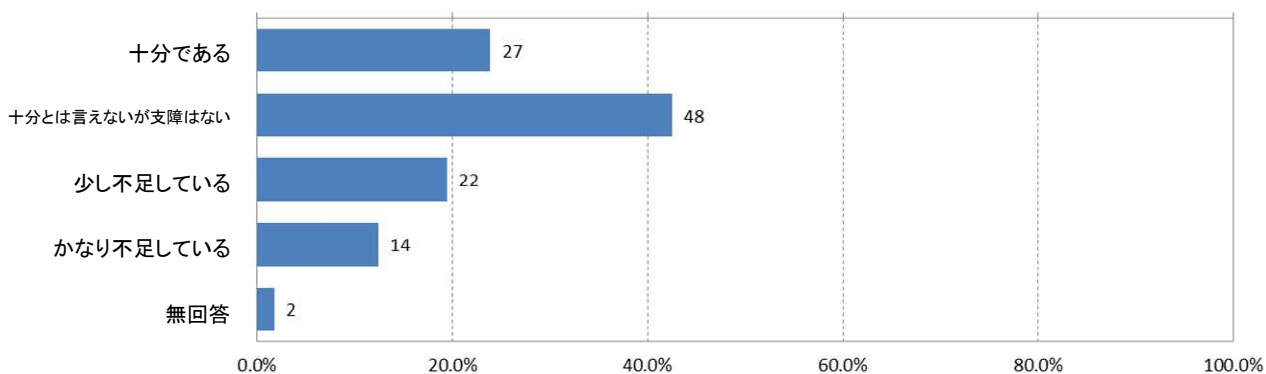
「10人以上30人未満」が34.5%で最も多く、「50人以上100人未満」(23.0%)と「30人以上50人未満」(16.8%)が続いています。

問4 貴事業所の従業者数は、次のうちどれですか。(1つに○)



「5人以上10人未満」が28.3%で最も多く、「20人以上50人未満」(24.8%)と「10人以上20人未満」(23.0%)が続いています。

問5 貴事業所の維持管理に必要な従業者数は、十分だと思いますか。(1つに○)



「十分とはいえないが支障はない」が42.5%で最も多く、「十分である」(23.9%)と「少し不足している」(19.5%)が続いています。

問6 問5で「3.少し不足している」「4.かなり不足している」と回答された場合のみお答えください。なぜ不足しているのですか。(自由記述)

保育士が全国的に不足している中、守口市は保育所新設や民営化が相次ぎ、さらに大変な状況となっている。そんな中、補助金もカット(1割)されているため人件費をカットせざるを得ず、他の自治体へ保育士が流出しているため。

スタッフが退職した為

雇用条件、特に処遇面において市独自の手当等を考えないと募集をしても他市に就職する状況にある。

仕事(介護職)がハードで勤務シフトも多様で賃金が安い為。

職員を募集してもこない。

賃金が安い

体制だけの部分での人数配置されているので本質的なところが見てもらえていない

支援員(嘱託)を募集しているが応募がない。4月より正規職員を一名入れる予定であったが、直前に辞退されてしまった。

募集してもこない。介護処遇改善加算金でアップしても...

ハローワーク求人広告に掲載してもなかなか介護職員の求人の応募がこない為。

求人募集しても応募がない。介護依頼があってもすべての利用者様に対応できない。(人材不足)

募集してもなかなか求人がない。採用しても家庭の事情やマッチングがうまくいかず、退職が出たりして、職員が増えていない。

職員を一般募集しても、なかなか来ない為、紹介会社等に依頼が必要。紹介料に費用が多くかかる。

市からの委託事業で行っているため、委託費が定額で変化がない。職員の給料は少しずつ上がっている為、新規に職員を採用する余力がない。

利用者増により職員を補充したいが、応募が少ない。

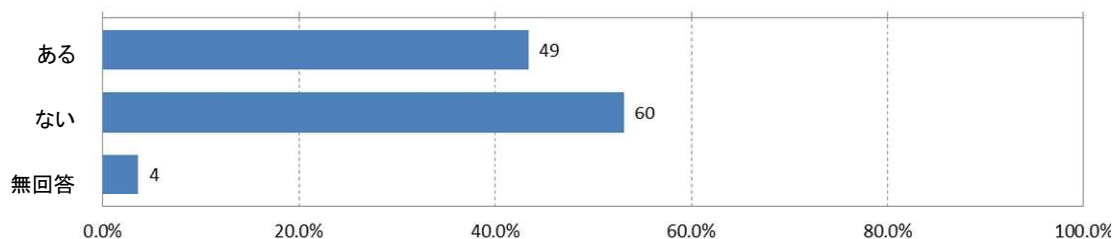
募集しても来ません。子どもさんがいるヘルパーさんは働ける時間が短い為。

財政的に余裕がないので

人員配置(クラス担任)が国基準になったことから補助でフリーが入ったり、休暇等の調整がより必要になり、安全な保育の確保が難しいことがある。

地域との関わりについて

問7 貴事業所が所在する地域(町会・自治会)との関わりがありますか。(1つに○)



「ない」が53.1%、「ある」が43.4%となっています。

		合計	ある	ない	無回答
全体		113	49	60	4
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	32	45	2
	障害者施設	16	5	11	0
	児童施設	15	12	2	1
小学校区	梶小学校区	9	4	5	0
	金田小学校区	3	0	3	0
	さつき学園校区	15	5	10	0
	佐太小学校区	6	3	2	1
	三郷小学校区	3	0	3	0
	下島小学校区	3	1	2	0
	寺方小学校区	7	3	4	0
	藤田小学校区	5	4	1	0
	錦小学校区	11	6	5	0
	庭窪小学校区	8	4	4	0
	橋波小学校区	13	6	6	1
	南小学校区	2	1	1	0
	守口小学校区	10	1	8	1
	八雲小学校区	6	4	2	0
	八雲東小学校区	2	2	0	0
よつば小学校区	9	5	4	0	
利用者数	10人未満	7	4	3	0
	10人以上30人未満	39	9	30	0
	30人以上50人未満	19	9	9	1
	50人以上100人未満	26	13	12	1
	100人以上200人未満	17	11	5	1
	200人以上	4	3	1	0
従業員数	5人未満	19	3	15	1
	5人以上10人未満	32	11	21	0
	10人以上20人未満	26	8	17	1
	20人以上50人未満	28	20	7	1
	50人以上	7	7	0	0
従業員数 過不足	十分である	27	10	16	1
	十分とは言えないが支障はない	48	19	29	0
	少し不足している	22	12	9	1
	かなり不足している	14	8	5	1

→ それはどのような関わりですか。

運営推進会議の実施。

運営推進会議やだんじり、運動会、文化祭等で相互交流

運営推進会議を通じてカラコロ体操を開催することになった。

大久保中学校区連絡協議会

屋外活動として、地域の公園、神社等を利用、使用させてもらっている。

おまつり、小学校、中学校体験

回覧板あり、地域活動参加、事業所開放でイベント

梶地域コミュニティ協議会に月1回参加させてもらっている

行事等開催において周知し、協力をお願いをしている

行事などで駐輪場をお願いしている

京阪商店街の理事を務めさせて頂いています。

圏域内ケア会議で関わることもある。

健康講座や介護教室等を積極的に開催している

サロン運営

事業所でまつりを開催する際、ご案内を兼ねて挨拶へ伺っている。町内会に入り、町会費を支払っている。

施設見学会等

自治会に入り、役割もついている

地元自治会と地域の一人として、友好関係を構築維持している。

相談窓口、行事参加

地域の消防訓練

地域の連絡協議会への参加や子育て支援事業にお手伝いに来て下さっています。

地区コミュニティ協議会役員をしています

地区福祉委員会等会合参加、わかたけ園夏祭り協力依頼等

町会の行事に参加させて頂いています。

町会の行事に参加しています

町会費、協力金等

町会費も払い町会員となっている

町内会において班長等の役をすることあり

月1回絵本の読み聞かせ

土居の商店街内に事業所があり、商店街の理事としての関わりなど。

当事業所夏まつりに町会のテントちょうちんを借用する程度。

認知症カフェを行っている

納涼祭など地域との交流をもっている

八雲地域コミュニティ協議会の運営委員として参加している。

盆踊り大会や地車祭りの協力

祭り参加、廃品回収提供等。

まつりの協賛

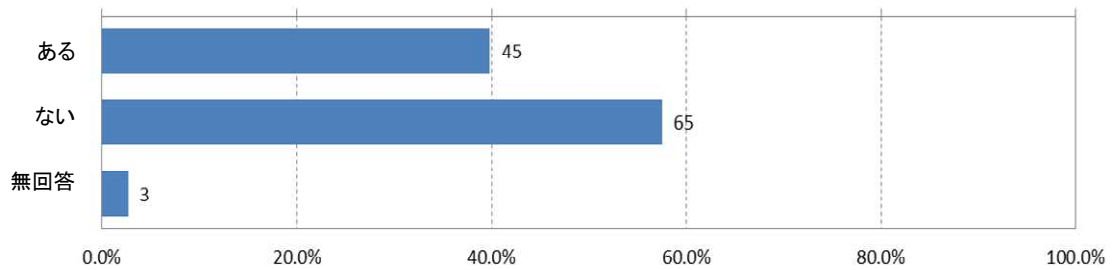
守口緊急通報システム

老人演芸会に賛助出演(隔年)、秋祭りに御祝儀

老人会、町会の方の利用者が多く来られ、仲良くして頂いている。

老人ホーム訪問、園長コミュニティ会議出席、地域弥治工門の慰霊祭に園長出席、中西邸訪問(園児)等

問8 貴事業所では、他の団体や組織などと連携して、行事や活動をすることがありますか。
(1つに〇)



「ない」が57.5%、「ある」が39.8%となっています。

		合計	ある	ない	無回答
全体		113	45	65	3
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	22	56	1
	障害者施設	16	11	5	0
	児童施設	15	10	4	1
小学校区	梶小学校区	9	3	6	0
	金田小学校区	3	1	2	0
	さつき学園校区	15	9	6	0
	佐太小学校区	6	3	2	1
	三郷小学校区	3	1	2	0
	下島小学校区	3	0	3	0
	寺方小学校区	7	1	6	0
	藤田小学校区	5	2	3	0
	錦小学校区	11	3	8	0
	庭窪小学校区	8	3	4	1
	橋波小学校区	13	5	8	0
	南小学校区	2	1	1	0
	守口小学校区	10	3	7	0
	八雲小学校区	6	4	2	0
	八雲東小学校区	2	1	1	0
よつば小学校区	9	5	4	0	
利用者数	10人未満	7	1	6	0
	10人以上30人未満	39	12	26	1
	30人以上50人未満	19	6	13	0
	50人以上100人未満	26	11	15	0
	100人以上200人未満	17	12	4	1
	200人以上	4	3	1	0
従業員数	5人未満	19	2	17	0
	5人以上10人未満	32	14	18	0
	10人以上20人未満	26	9	16	1
	20人以上50人未満	28	15	12	1
	50人以上	7	5	2	0
従業員数 過不足	十分である	27	10	17	0
	十分とは言えないが支障はない	48	18	29	1
	少し不足している	22	13	9	0
	かなり不足している	14	3	10	1

→ それはどのような団体で、どのような行事や活動ですか。

(一社)西日本介護事業者支援協会、介護職員研修や情報共有など。

○地域開放-主任児童委員会 ○シルバー人材センター-大工体験、サンタクロース、伝承あそび ○2年目社会体験 ○地域コーディネーター-中学生読み聞かせ ○中学職場体験-公立、私立(大和田中) ○公民館-読み聞かせボランティア ○幼稚園交流

介護予防にまで行かない方の身体測定(地域包括主催)

外食レクレーション民間の食堂を利用している。

近隣の小学校に運動会開催について協力をいただいている

警察にて防犯教室をしてもらっています。

研修会をしている

子どもたちの訪問(介護施設)、民間園との保育交流等

事業者連絡会として2ヶ月に1度集まり情報交換している。また他事業者連絡会と合同で勉強会を行う事もある

事業所連絡会、守口らんらん

障大連、障害者の権利のために連携しています。また利用者もデモ活動などに参加。ピープルファースト、利用者自身が語り合い障害者問題に取り組んでいます。

障がい者団体と協力して地域が一般市民に障がい者理解を促進する事業に協力している。

小学校と交流会、小規模園とミニ運動会、中学生の読み聞かせ会、中学生の職場体験

小学校の学童保育と交流、中学生と一緒に避難訓練に参加させてもらう。消防訓練、防犯教室、サッカー教室、大工体験など

全国介護老人保健施設、大阪介護老人保健施設 協会

太子橋商店会。今は商店会内の場所がないがつながりとして会に加入している。

地域のサークル、祭りやクリスマス会

地域包括支援センター(法人) 市民公開講座の講演

地域包括支援センター、介護教室など

町会、社協等

通所サービス部会、就労支援部会

土居地区地域コミュニティ協議会

同業他社や就ボツとの連携イベント

内職作業等又は作業委託

夏祭り、市民祭り、ボランティアフェア、自立支援協議会とその部会

認知症何でも研究会、事例検討会(主任ケアマネ協会と)ハートねっと守口等、地域貢献活動を行っている。

認知症の方のグループホームの訪問・コミュニティ祭りに園児出演

納涼祭 佐太地区福祉委員会(社協)からボランティアの協力を頂いています

八雲中学校区連携推進協議会や八雲中学校区PTA協議会、守口市PTA協議会等で体育大会や祭典の参加、講演会出席など。

福祉施設の有志により作られた「守口らんらん2017」、認知症啓発イベント。認知症の方も安心して暮らせる守口市を目指し、認知症の方、その家族、支援者、地域住民と一緒に走ったり、歩いたりゴールを目指すイベント。

他の障害者団体との共同で「もりもりギフト」の取り組みを行っている。

ボランティア団体

民医連参加、原水禁活動、平和活動(運動)参加

民生委員さんの中学生絵本の読み聞かせ事業やなかにし邸との交流。夏祭りの時には地域の防犯委員さんが警備にあたって下さっています。

もりぐちあったかプロジェクト(施設の授産製品を販売する)、春をよぶみんなのコンサートなど

守口市エイフボランタリーネットワークの定例会

守口市の介護関係の事業者の集まりで、催しをしたりしました。今後も活動します。

守口市バトンチームの子どもさん達との交流会

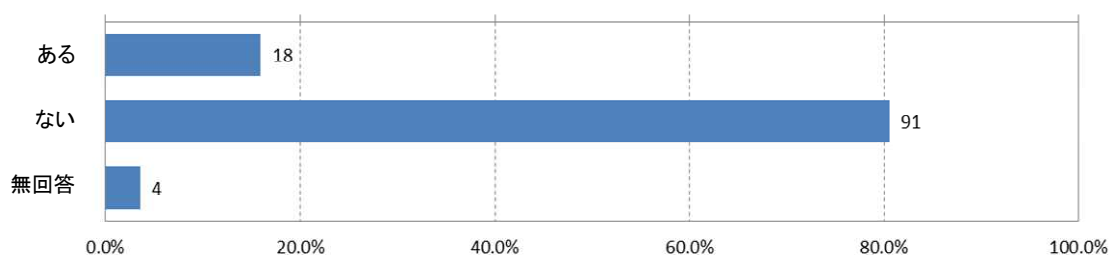
もりもりプロジェクト 物品販売

連絡会での研修、ケアマネとの研修、今年は一ねつと守口との守口らんらん 認知症の啓発運動

老健ホーム ラガールとの交流

老人演芸会参加、ヤクルトと連携をとり食育についてのイベント

問9 貴事業所では、地域行事や町会・自治会などが行う事業に、
施設の一部やスペースを開放することはありますか。(1つに○)



「ない」が80.5%、「ある」が15.9%となっています。

		合計	ある	ない	無回答
全体		113	18	91	4
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	13	64	2
	障害者施設	16	1	15	0
	児童施設	15	3	11	1
小学校区	梶小学校区	9	1	8	0
	金田小学校区	3	0	3	0
	さつき学園校区	15	3	12	0
	佐太小学校区	6	2	3	1
	三郷小学校区	3	0	3	0
	下島小学校区	3	0	3	0
	寺方小学校区	7	3	4	0
	藤田小学校区	5	0	5	0
	錦小学校区	11	2	9	0
	庭窪小学校区	8	1	6	1
	橋波小学校区	13	3	9	1
	南小学校区	2	0	2	0
	守口小学校区	10	0	10	0
	八雲小学校区	6	1	5	0
	八雲東小学校区	2	1	1	0
よつば小学校区	9	1	8	0	
利用者数	10人未満	7	1	5	1
	10人以上30人未満	39	3	35	1
	30人以上50人未満	19	4	15	0
	50人以上100人未満	26	4	22	0
	100人以上200人未満	17	4	12	1
	200人以上	4	2	2	0
従業員数	5人未満	19	1	17	1
	5人以上10人未満	32	4	28	0
	10人以上20人未満	26	3	22	1
	20人以上50人未満	28	6	21	1
	50人以上	7	4	3	0
従業員数 過不足	十分である	27	4	23	0
	十分とは言えないが支障はない	48	7	40	1
	少し不足している	22	5	17	0
	かなり不足している	14	2	10	2

→ それはどのような行事や事業ですか。

夏祭り

佐太天神子供みこしの休憩場の提供

納涼祭

ペタンクの練習として園庭を貸す

商店街夏祭り

市民公開講座

守口市エイフボランタリーネットワークの定例会

カラコ体操/週1回(木)、サロン喫茶で施設スペースを開放している/週1回(火)

カラコ体操

町会の盆踊りの時、認知症サポーター養成講座

包括や町会のイベント

RUN友の参加施設(出発地)として、一部を提供、開放する。

子育て支援交流活動

お祭りなどの時の駐車場

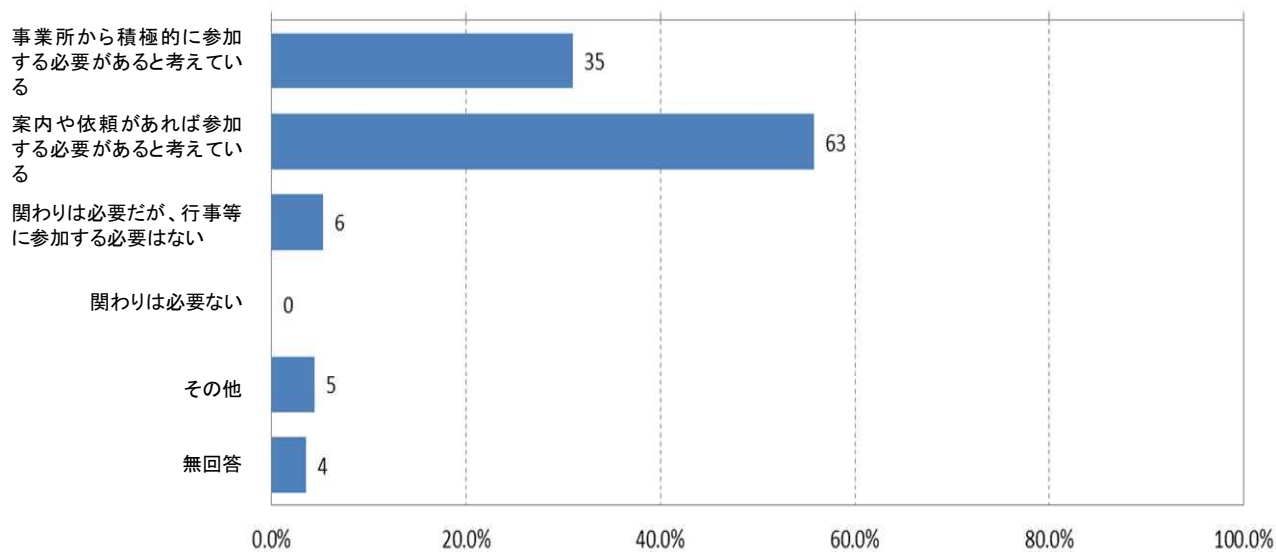
デイサービスがお休みの日のみ

お祭り時のトイレ使用等

地区の祭の地車の休憩場所にて子どもや参加者への飲み物を提供したり、トイレを利用させている。

いきいき広場(ディスコン、絵手紙、夏休み宿題、クリスマス会)

問10 地域との関わりについて、どのようにお考えですか。(1つに○)



→ その他

関わりは必要だが、今のところはあまり参加出来ていない。

案内や依頼があり、参加できる職員がいれば参加可能である。

地域的に自治会・町会がなく、関わりが持てない。

町会がないので関わりが持ちにくい

「案内や依頼があれば参加する必要があると考えている」が55.8%で最も多く、「事業所から積極的に参加する必要があると考えている」(31.0%)と「関わりは必要だが、行事等に参加する必要はない」(5.3%)が続いています。

	合計	と参加する必要がある	事業所から積極的に参加する必要がある	案内や依頼があれば参加している	要は行事等には参加するが、関わりは必要ない	関わりは必要ない	その他	無回答
全体	113	35	63	6	0	5	4	
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	25	45	6	0	2	1
	障害者施設	16	7	8	0	0	1	0
	児童施設	15	3	9	0	0	2	1
小学校区	梶小学校区	9	1	7	1	0	0	0
	金田小学校区	3	2	1	0	0	0	0
	さつき学園校区	15	6	8	0	0	1	0
	佐太小学校区	6	2	3	0	0	0	1
	三郷小学校区	3	0	2	0	0	1	0
	下島小学校区	3	0	3	0	0	0	0
	寺方小学校区	7	2	5	0	0	0	0
	藤田小学校区	5	2	2	1	0	0	0
	錦小学校区	11	4	6	0	0	1	0
	庭窪小学校区	8	3	4	0	0	0	1
	橋波小学校区	13	3	8	2	0	0	0
	南小学校区	2	1	1	0	0	0	0
	守口小学校区	10	2	6	1	0	1	0
	八雲小学校区	6	4	0	1	0	1	0
	八雲東小学校区	2	0	2	0	0	0	0
よつば小学校区	9	3	5	0	0	0	1	
利用者数	10人未満	7	3	3	1	0	0	0
	10人以上30人未満	39	9	26	1	0	2	1
	30人以上50人未満	19	6	11	1	0	1	0
	50人以上100人未満	26	10	12	2	0	1	1
	100人以上200人未満	17	4	10	1	0	1	1
	200人以上	4	3	1	0	0	0	0
従業員数	5人未満	19	3	14	1	0	0	1
	5人以上10人未満	32	9	19	1	0	3	0
	10人以上20人未満	26	7	16	2	0	0	1
	20人以上50人未満	28	9	14	2	0	2	1
	50人以上	7	7	0	0	0	0	0
従業員数 過不足	十分である	27	10	17	0	0	0	0
	十分とは言えないが支障はない	48	13	30	1	0	3	1
	少し不足している	22	8	9	3	0	2	0
	かなり不足している	14	4	7	2	0	0	1

問11 貴事業所を運営する上で、地域や近隣住民との関わりについて、考えをお聞かせください。(自由記述)

8割以上、守口市の方が利用されているので、地域でのニーズは可能な範囲で、対応していく予定。

挨拶等、常に地域や近隣住民の方々とのコミュニケーションをとり、友好的な関わりをもって運営しています。

挨拶や声かけなど行い日頃から話し易い関係を作り、困り事があれば気軽に相談できる窓口としての機能を備えたい。

新しい方針を組み入れる姿勢を持ち関わっていききたい。

介護事業をする上で地域住民と医療との携わりはとても大事だと思っています。

介護保険等の活用の仕方が分からず埋もれている方がいる。色々な制度について周知していく必要がある。

会社の理念にもあり、地域とのつながりはとても大切にしている。より深く関係を築けるよう努力している。

会社の了承があれば近隣地域でのポスティングやチラシの配布等でより地域に密着して関わっていききたい

顔なじみにはなってきたので、もう少し深い付き合いが出来た方が良いのかとも思う。

顔の見える関係作り。ただ訪問系であるため多くの人と顔を合わせることはない。

関わりについては大事であると思うが、行事等の参加については、特養の利用者様には難しいと思う。

関わりは必要だと思うが、事業所の営業時間終了後だと夜なので、なかなか難しい。

居宅介護支援事業所として、地域住民の相談に対応できればと考えている。

近隣住民の方がサービスを利用して頂いているので、地域での困りごとにも、対応していける姿勢が必要である。

近隣住民の方への告知や、介護に関する相談等含め、対応を積極的に進めていきたいと考えています。

近隣の方には騒音や自転車、車などのトラブルがあるため、あいさつやお知らせ、地域へのかかわりや顔見知りになることやすぐに対応することが必要である

近隣の住民からの介護についての相談はありますが、関係機関へつないだ後のことがわからず。

健康寿命と平均寿命の差が短縮できれば、社会保障負担の軽減に繋がる。約20年後は生産年齢人口と支える高齢者数の割合が1対1となることを伝え、説明をし、亡くなるまで元気でポックリ逝く。これを「勇死」と名付け、これを目標として後の世代のために協力していただき、その必要性を伝えていきたいと思っております。

高齢者の在宅介護を支える地域の力を強めるためには当施設で行っている種々の活動のサテライトが地域の各所で生まれ、そのネットワークが守口をおおっていくように願い支援していくこと

こども園の運営、園児の登園、下園、通園バスの運行、運動会等の行事の実施において、地元自治会(近隣住民)の理解と協力が不可欠であるので、地域の一員として地域に参画する必要があると考える。

子供達の元気な姿を地域に還元していきたい。

今後もっと地域との交流を大切にしていく。

事業所内で各種催事を開く際には是非近隣の方々にも参加してほしいと考えています。

施設として時間、内容共に上限いっぱいやっているの、関わりの時間を持つのはなかなか難しいが、できる限り努力したい。

自治会等に参加しようと思うと従業者勤務時間が合わず、そこをどう解消していいかわからない。

自治会の取り組みへの参加などを通し、近隣住民の方々に事業所に対する理解を深めていただき、より一層地域に根付いてゆきたいと考えている。

市民講座やカフェ・教室に参加される方は同じ顔ぶれ。外に出る事に支援が必要な方への活動が見えない。参加者の確保で満足している事業に見える事があります。

障害者自身を知ってもらうためには、常に地域住民の理解や啓発活動は必要と考えています。そのためには、B型の商品を販売する際に地域の駅等で販売を行ったり、生活介護利用者を中心に地域清掃を行っています。

積極的な関わりが必要であり、今後も継続していきたい。

積極的に関わろうとは思いますが、時間が取りにくい。祖父母を呼ぶのも大変。迷惑をかけない様にとする方が先にたつ。

段々、地域の方が高齢になっていくように感じます。特にコミュニティ協議会の役員さんも同じ人が多い。

地域行事などに参加し、地域・他事業所との連携が必要

地域行事の運営担当者とのつながりが必要だと思います。

地域住民との関わりを積極的にする必要はあるか、不信に思ってしまう人もいます。町内会、自治会と関わりを持てる場があれば、つながりがもてて、独居高齢者を守れるのではないかと考える。

地域との関わりは、事業所にとって重要になってくる。「個」になるのではなく、互いが安心できる関係性を目指したい。

地域との関わりは大事と考えてはいるが、目の前の課題に対応するので目いっぱい、地域や近隣に向けて、積極的な動きはできていません。積極的に関わっていくためにも人的資源の拡充は必要だと思っています。

地域との連携の会議には参加することで繋がっていただけるので参加したい。近隣の方とは何かあればお手紙を配ったり、あいさつしたりと良好な関係ができるように努力していきたい。

地域と連携をとり、地域に開かれた場所

地域に根ざした保育所づくりが大切。市の役割として市民に対して、情報発信していく必要あり。災害時においても地域とのつながりがあればお互いに助け合える。

地域に根差根差した施設を目標にしています。

地域に根付いたものを作っていきたいので関わりを持ちたいが、時間等に余裕がない。

地域の憩いの場として利用して頂きたい。カラオケもありますし、コーヒーサービスもしたいと思います。

地域の一員として活動し、介護や介護予防の経験や知識を地域還元できる運営を行いたい。

地域の方が相談やイベントに参加しやすい事業所であるべきと考える。

地域の方々や住民の方たちが気軽に立ち寄って頂き、相談などができるように日々関わっていただけるように心がけています。

地域の方のボランティアで園芸等の指導をしていただけたらと思う。

地域の高齢者支援活動への参加をすることにより、地域や近隣住民と連携して要支援者への包括的な支援体制を構築することが重要であると考えます。

地域の中にある施設なので、日頃の活動や子どもたちの姿を見ていただく機会が持てたら、運営への理解も得やすく、保育園への理解、子どもたちの自信にもつながると思う。

地域の中の保育所なので地域の方に見守っていただき、みんなで子どもたちの成長を支えるという意味で交流は大切だと考えています。

地域の人も気軽に行事に参加出来たり、立ち寄ってもらえる場になるようにしていきたい。

地域密着型のデイに改正された際、運営推進会議を行うこととなったのはもちろんだが、大きい介護事業所の方が関わりが必要ではないか。大阪市が近いので、隣接する地区は、連携可能、利用者の利用を可能にして欲しい。施設も利用者も混乱する。

地域や近隣住民に暖かく見守って頂き感謝しています。

近くに住宅がないので、関わりは少ないが広く、就労移行という福祉サービスがあるということを知ってもらいたい

町会がなく活動もないので関わりが持ちにくい

定期的に自治会長宅を訪問し、園庭開放等について周知と理解をいただくようにしていきたい。

店舗運営をしているので近所の方が食事会に来て下さいます。もっと多くの方に理解される為には市から応援が必要です。

何らかの災害が発生すれば、地域の方々の力を借りなければならないので、その意味でも施設周辺の地域の方々や接点を持って行きたい。

必要と思うができていない。

ひらかれた施設作りが必要。

防災時の連携

法人および職員が地域住民とともに協力し合い、地域福祉のより良い環境作りに努めていきたい。例えばサロン

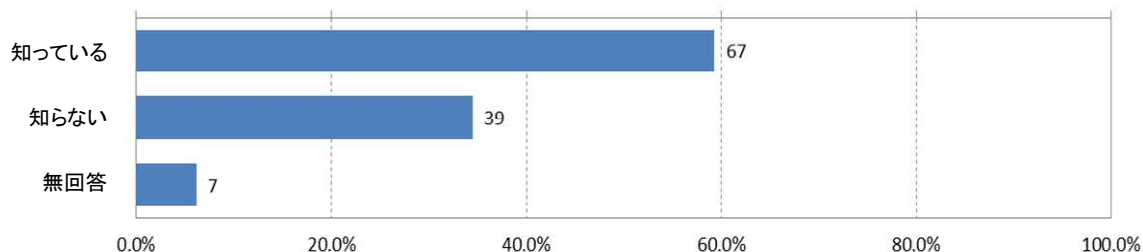
法人として地域代表として「民生委員」を選任しているが、民生委員も仕事をしながら行っているため、地域関係までの話しにならない。

有事の際の協力、助け合いは勿論だが住民ではない部分もあるので一線はあって然るべし。

連携しているサ高住でボランティアで演芸等の機会を設け、地域の方と交流が出来たらいいと思います。

施設の防災に関する取組みについて

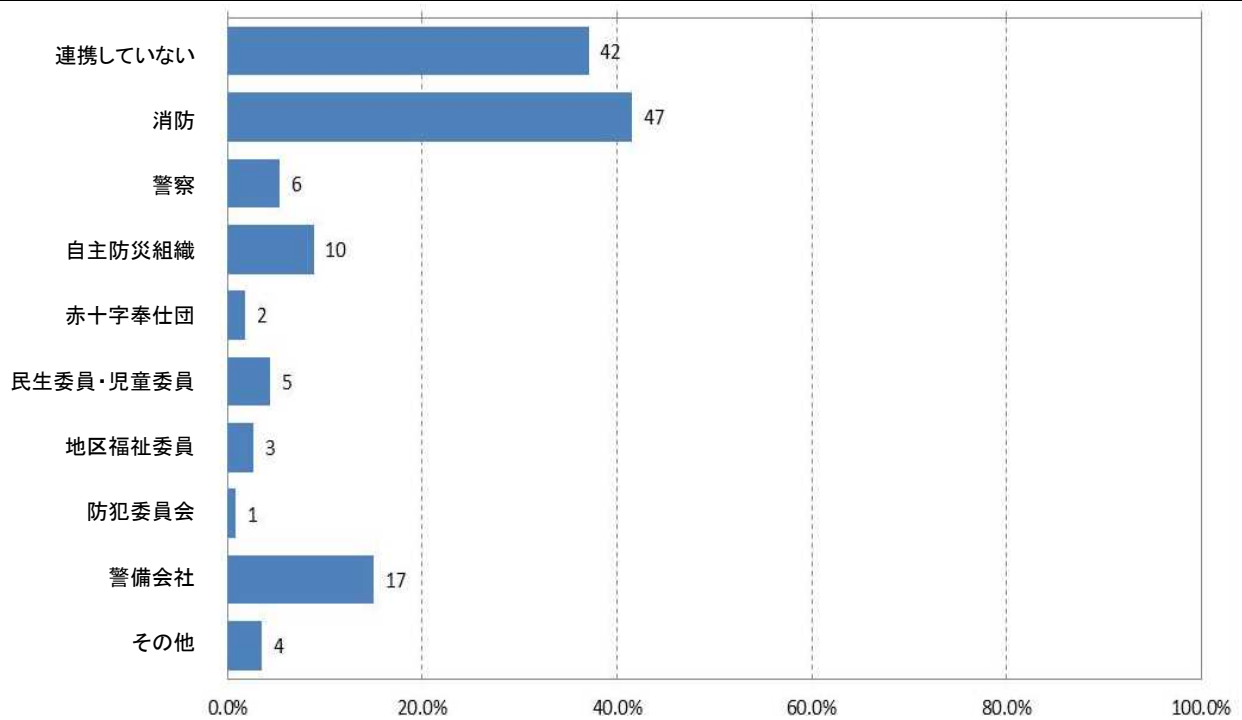
問12 「水防法等の一部を改正する法律」の施行により、浸水が想定される地域における社会福祉施設、学校、医療施設等の要配慮者利用施設に対し、避難確保計画の作成や避難訓練の実施が義務化されましたが、ご存知ですか。(1つに○)



「知っている」が59.3%、「知らない」が34.5%となっています。

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		113	67	39	7
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	47	29	3
	障害者施設	16	9	7	0
	児童施設	15	10	3	2
小学校区	梶小学校区	9	5	4	0
	金田小学校区	3	1	2	0
	さつき学園校区	15	6	9	0
	佐太小学校区	6	3	2	1
	三郷小学校区	3	3	0	0
	下島小学校区	3	2	1	0
	寺方小学校区	7	5	2	0
	藤田小学校区	5	4	1	0
	錦小学校区	11	6	4	1
	庭窪小学校区	8	7	1	0
	橋波小学校区	13	10	3	0
	南小学校区	2	1	1	0
	守口小学校区	10	3	6	1
	八雲小学校区	6	6	0	0
	八雲東小学校区	2	1	1	0
よつば小学校区	9	4	2	3	
利用者数	10人未満	7	4	2	1
	10人以上30人未満	39	24	13	2
	30人以上50人未満	19	9	9	1
	50人以上100人未満	26	16	9	1
	100人以上200人未満	17	11	5	1
	200人以上	4	3	1	0
従業員数	5人未満	19	8	9	2
	5人以上10人未満	32	19	11	2
	10人以上20人未満	26	11	14	1
	20人以上50人未満	28	22	5	1
	50人以上	7	7	0	0
従業員数 過不足	十分である	27	15	10	2
	十分とは言えないが支障はない	48	29	18	1
	少し不足している	22	14	7	1
	かなり不足している	14	9	4	1

問13 避難訓練等の防災に関することについて、下記の関係団体・機関と連携を図っていますか。連携している関係団体・機関を教えてください。(あてはまるもの全てに○)



→ その他

守口支援学校

よつば小学校

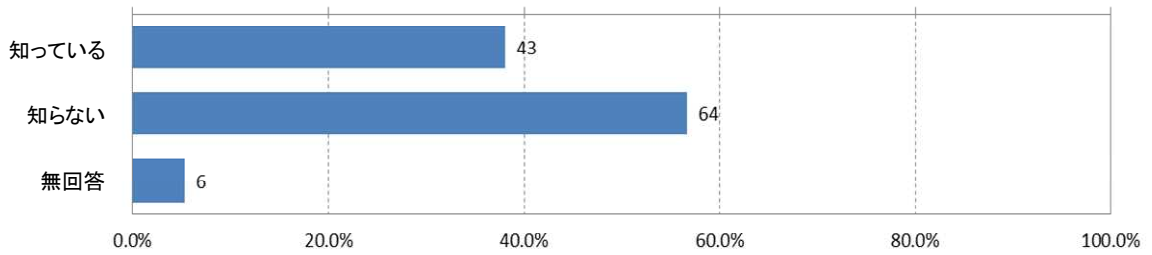
八雲小学校

芦間高校

「消防」が41.6%で最も多く、「連携していない」(37.2%)と「警備会社」(15.0%)が続いています。

	合計	連携していない	消防	警察	自主防災組織	赤十字奉仕団	民生委員・児童委員	地区福祉委員	防犯委員会	警備会社	その他	
全体	113	43	47	6	10	2	5	3	1	17	4	
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	34	31	2	5	0	3	1	0	8	1
	障害者施設	16	8	6	0	3	0	0	0	0	3	0
	児童施設	15	1	9	4	2	2	2	1	6	3	
小学校区	梶小学校区	9	6	2	1	1	1	2	2	1	1	0
	金田小学校区	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	さつき学園校区	15	9	4	0	1	0	0	0	0	2	0
	佐太小学校区	6	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0
	三郷小学校区	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	下島小学校区	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	寺方小学校区	7	3	3	0	1	0	0	0	0	2	0
	藤田小学校区	5	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0
	錦小学校区	11	3	6	1	1	0	0	0	0	2	0
	庭窪小学校区	8	1	4	0	1	0	1	0	0	1	1
	橋波小学校区	13	7	5	1	0	0	1	0	0	2	0
	南小学校区	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	守口小学校区	10	2	3	0	1	0	1	0	0	1	1
	八雲小学校区	6	1	4	1	1	0	0	0	0	0	1
八雲東小学校区	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
よつば小学校区	9	2	5	1	2	1	0	0	0	3	1	
利用者数	10人未満	7	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	10人以上30人未満	39	19	13	1	1	0	1	0	0	4	1
	30人以上50人未満	19	7	9	2	2	1	1	1	0	5	1
	50人以上100人未満	26	9	11	2	2	0	2	1	0	3	1
	100人以上200人未満	17	5	8	1	3	1	1	1	1	2	1
	200人以上	4	0	3	0	2	0	0	0	0	3	0
従業員数	5人未満	19	13	3	0	1	0	1	0	0	0	0
	5人以上10人未満	32	17	7	1	2	1	1	0	0	5	2
	10人以上20人未満	26	10	12	3	0	0	1	1	0	5	0
	20人以上50人未満	28	2	20	2	4	1	2	2	1	5	2
	50人以上	7	1	5	0	3	0	0	0	0	2	0
従業員数 過不足	十分である	27	11	10	2	2	0	3	2	0	5	1
	十分とは言えないが支障はない	48	22	18	1	3	1	1	1	1	4	2
	少し不足している	22	5	12	1	5	1	0	0	0	6	1
	かなり不足している	14	5	7	2	0	0	1	0	0	2	0

問14 市が作成している「避難行動要支援者名簿」はご存知ですか。(1つに○)

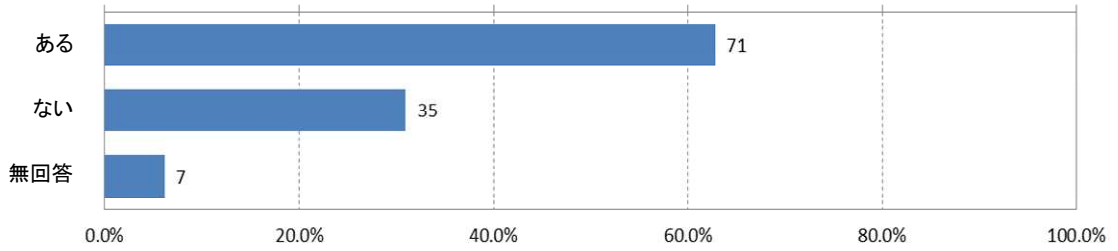


「知らない」が56.6%、「知っている」が38.1%となっています。

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		113	43	64	6
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	28	48	3
	障害者施設	16	10	6	0
	児童施設	15	5	8	2
小学校区	梶小学校区	9	5	4	0
	金田小学校区	3	1	2	0
	さつき学園校区	15	6	9	0
	佐太小学校区	6	4	1	1
	三郷小学校区	3	1	2	0
	下島小学校区	3	3	0	0
	寺方小学校区	7	2	5	0
	藤田小学校区	5	2	3	0
	錦小学校区	11	1	8	2
	庭窪小学校区	8	3	5	0
	橋波小学校区	13	7	6	0
	南小学校区	2	0	2	0
	守口小学校区	10	0	9	1
	八雲小学校区	6	1	4	1
	八雲東小学校区	2	0	2	0
よつば小学校区	9	7	2	0	
利用者数	10人未満	7	2	4	1
	10人以上30人未満	39	13	24	2
	30人以上50人未満	19	9	10	0
	50人以上100人未満	26	11	14	1
	100人以上200人未満	17	6	10	1
	200人以上	4	2	2	0
従業員数	5人未満	19	10	8	1
	5人以上10人未満	32	14	16	2
	10人以上20人未満	26	7	19	0
	20人以上50人未満	28	8	18	2
	50人以上	7	4	3	0
従業員数 過不足	十分である	27	7	17	3
	十分とは言えないが支障はない	48	21	27	0
	少し不足している	22	11	10	1
	かなり不足している	14	4	9	1

社会格差や生活困窮に関する実態と意識について

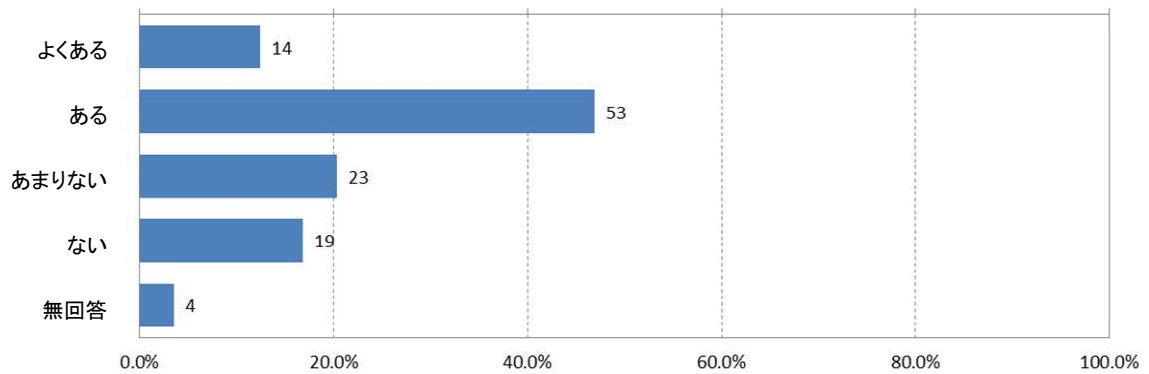
問15 貴事業所の利用者またはその家族が生活困窮であると見聞きしたことがありますか。
(1つに○)



「ある」が62.8%、「ない」が31.0%となっています。

		合計	ある	ない	無回答
全体		113	71	35	7
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	50	26	3
	障害者施設	16	14	2	0
	児童施設	15	7	6	2
小学校区	梶小学校区	9	5	4	0
	金田小学校区	3	3	0	0
	さつき学園校区	15	12	3	0
	佐太小学校区	6	5	0	1
	三郷小学校区	3	2	1	0
	下島小学校区	3	2	1	0
	寺方小学校区	7	4	3	0
	藤田小学校区	5	3	2	0
	錦小学校区	11	7	3	1
	庭窪小学校区	8	4	3	1
	橋波小学校区	13	7	6	0
	南小学校区	2	0	2	0
	守口小学校区	10	6	2	2
	八雲小学校区	6	3	3	0
八雲東小学校区	2	2	0	0	
よつば小学校区	9	6	2	1	
利用者数	10人未満	7	2	4	1
	10人以上30人未満	39	22	16	1
	30人以上50人未満	19	14	5	0
	50人以上100人未満	26	20	4	2
	100人以上200人未満	17	11	4	2
	200人以上	4	2	2	0
従業員数	5人未満	19	13	4	2
	5人以上10人未満	32	21	9	2
	10人以上20人未満	26	13	13	0
	20人以上50人未満	28	19	7	2
	50人以上	7	5	2	0
従業員数 過不足	十分である	27	16	8	3
	十分とは言えないが支障はない	48	29	19	0
	少し不足している	22	18	3	1
	かなり不足している	14	8	5	1

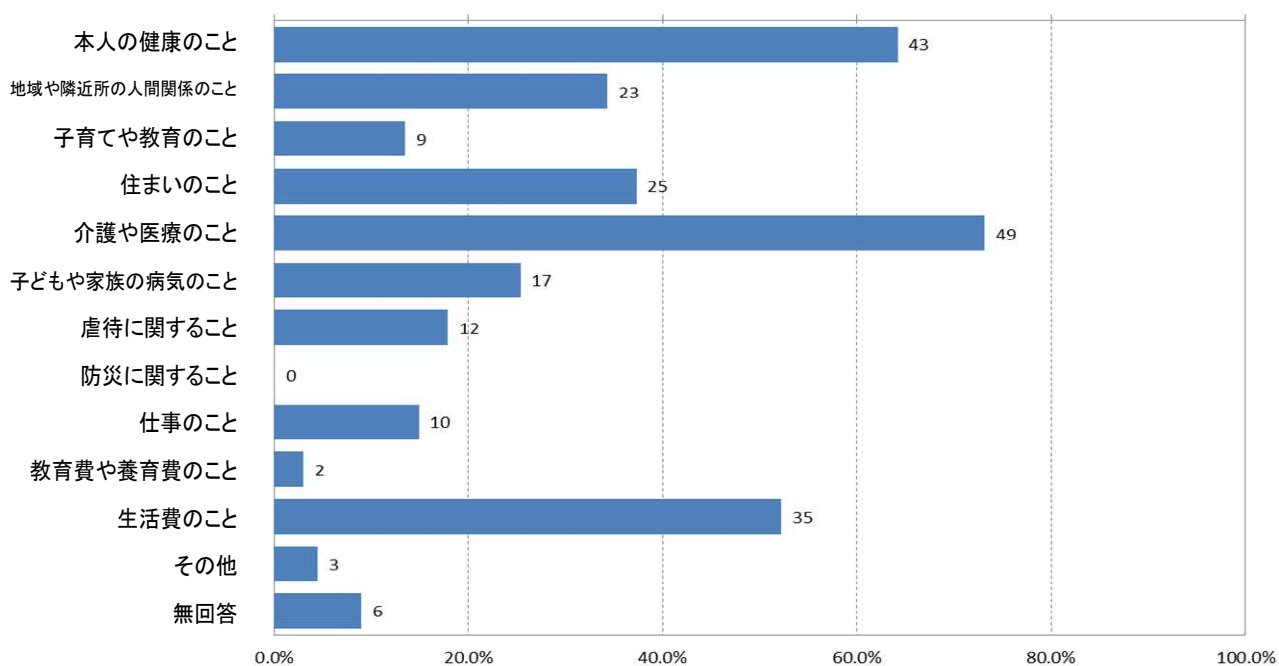
問16 貴事業所の利用者またはその家族から私生活などの家庭生活の相談を受けたことはありますか。(1つに○)



「ある」が46.9%で最も多く、「あまりない」(20.3%)と「ない」(16.8%)が続いています。

		合計	よくある	ある	あまりない	ない	無回答
全体		113	14	53	23	19	4
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	8	37	17	15	2
	障害者施設	16	6	9	0	1	0
	児童施設	15	0	6	6	2	1
小学校区	梶小学校区	9	1	5	2	1	0
	金田小学校区	3	1	1	1	0	0
	さつき学園校区	15	5	6	2	2	0
	佐太小学校区	6	3	1	1	0	1
	三郷小学校区	3	0	2	0	1	0
	下島小学校区	3	0	3	0	0	0
	寺方小学校区	7	1	3	2	1	0
	藤田小学校区	5	0	2	3	0	0
	錦小学校区	11	0	4	4	2	1
	庭窪小学校区	8	0	2	2	4	0
	橋波小学校区	13	1	8	1	3	0
	南小学校区	2	0	0	0	2	0
	守口小学校区	10	1	5	2	1	1
	八雲小学校区	6	0	4	1	1	0
八雲東小学校区	2	0	2	0	0	0	
よつば小学校区	9	1	5	2	1	0	
利用者数	10人未満	7	1	3	0	2	1
	10人以上30人未満	39	4	21	5	8	1
	30人以上50人未満	19	4	7	7	1	0
	50人以上100人未満	26	1	16	4	5	0
	100人以上200人未満	17	4	4	6	2	1
	200人以上	4	0	2	1	1	0
従業員数	5人未満	19	3	12	1	2	1
	5人以上10人未満	32	5	17	4	5	1
	10人以上20人未満	26	1	13	7	5	0
	20人以上50人未満	28	4	9	8	6	1
	50人以上	7	1	2	3	1	0
従業員数 過不足	十分である	27	2	15	6	2	2
	十分とは言えないが支障はない	48	4	21	10	13	0
	少し不足している	22	5	10	6	1	0
	かなり不足している	14	3	6	1	3	1

問17 問16で「1.よくある」「2.ある」と回答された場合のみお答えください。
相談内容は次のうちどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)



→ その他

親亡き後の支援

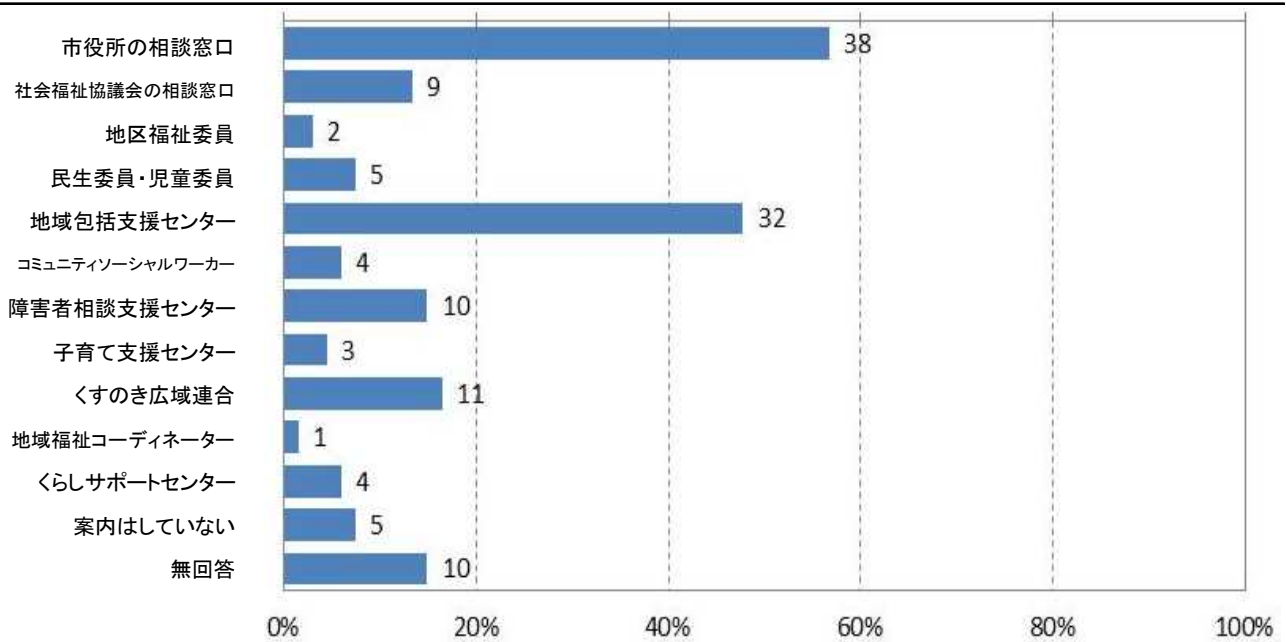
在籍の子ども、親同士のトラブル等

将来のこと

「介護や医療のこと」が 73.1%で最も多く、「本人の健康のこと」(64.2%)と「生活費のこと」(52.2%)が続いています。

	合計	本人の健康のこと	地域や隣近所の間関係のこと	子育てや教育のこと	住まいのこと	介護や医療のこと	子どもや家族の病気のこと	虐待に関すること	防災に関すること	仕事のこと	教育費や養育費のこと	生活費のこと	その他	無回答	
全体	113	43	23	9	25	49	17	12	0	10	2	35	3	6	
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	30	15	1	17	39	7	8	0	2	1	24	0	3
	障害者施設	16	11	7	3	8	10	5	2	0	7	0	10	2	0
	児童施設	15	2	1	5	0	0	5	2	0	1	1	1	1	1
小学校区	梶小学校区	9	3	4	1	2	4	3	0	0	1	0	4	0	0
	金田小学校区	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0
	さつき学園校区	15	7	4	0	9	8	1	3	0	4	0	8	0	0
	佐太小学校区	6	3	0	0	2	4	3	1	0	1	0	1	2	1
	三郷小学校区	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0
	下島小学校区	3	2	1	0	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0
	寺方小学校区	7	2	1	0	1	3	0	0	0	1	0	3	0	0
	藤田小学校区	5	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0
	錦小学校区	11	3	3	0	1	2	2	2	0	0	0	2	0	1
	庭窪小学校区	8	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0
	橋波小学校区	13	7	5	0	4	9	1	0	0	1	0	6	0	0
	南小学校区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	守口小学校区	10	4	3	3	2	5	1	0	0	2	0	1	1	1
	八雲小学校区	6	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0
八雲東小学校区	2	2	1	1	0	2	1	0	0	0	1	2	0	0	
よつば小学校区	9	2	0	3	0	1	3	2	0	0	1	2	0	2	
利用者数	10人未満	7	3	1	0	1	2	0	0	0	0	2	0	1	
	10人以上30人未満	39	17	9	3	8	17	3	2	0	7	0	11	1	2
	30人以上50人未満	19	6	3	2	7	9	5	1	0	2	0	7	1	0
	50人以上100人未満	26	11	6	2	4	13	6	6	0	0	1	12	0	1
	100人以上200人未満	17	5	4	1	5	7	3	2	0	1	0	3	1	1
	200人以上	4	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
従業員数	5人未満	19	10	4	0	7	10	3	1	0	2	0	8	0	2
	5人以上10人未満	32	16	12	4	10	15	7	5	0	5	1	12	1	2
	10人以上20人未満	26	11	3	2	4	12	3	2	0	2	0	6	0	0
	20人以上50人未満	28	5	3	3	3	9	4	3	0	1	1	8	2	1
	50人以上	7	1	1	0	1	3	0	1	0	0	0	1	0	0
従業員数 過不足	十分である	27	12	3	4	4	10	4	4	0	4	1	5	1	2
	十分とは言えないが支障はない	48	16	11	2	8	18	5	2	0	3	1	15	0	1
	少し不足している	22	11	6	3	10	13	7	4	0	2	0	9	2	0
	かなり不足している	14	4	3	0	3	8	1	2	0	1	0	6	0	1

問18 問16で「1.よくある」「2.ある」と回答された場合のみお答えください。相談内容によって解決に導くため、行政や専門機関への案内をしたことはありますか。また、案内した相談窓口は、次のうちどれですか。(あてはまるもの全てに○)

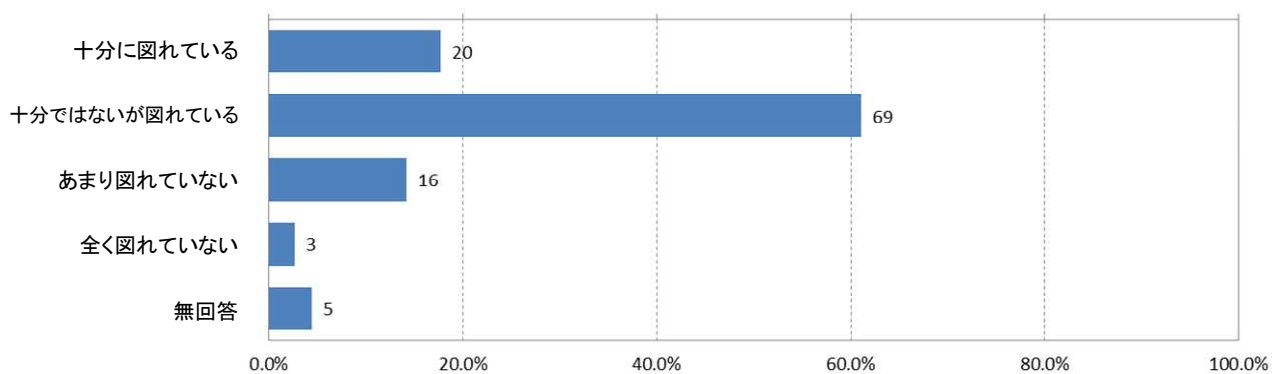


「市役所の相談窓口」が 56.8%で最も多く、「地域包括支援センター」(47.8%)が続いています。

	合計	市役所の相談窓口	社会福祉協議会の相談窓口	地区福祉委員	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	コミュニケーションワーカー	障害者相談支援センター	子育て支援センター	くすのき広域連合	地域福祉コーディネーター	くらしサポートセンター	案内はしていない	無回答	
全体	113	38	9	2	5	32	4	10	3	11	1	4	5	10	
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	21	4	0	2	28	3	3	0	10	0	2	4	7
	障害者施設	16	13	5	2	1	4	1	6	0	0	1	2	0	0
	児童施設	15	3	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	2
小学校区	梶小学校区	9	4	1	0	0	2	0	2	0	1	0	1	1	0
	金田小学校区	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	さつき学園校区	15	5	3	2	0	5	1	2	0	2	1	1	1	1
	佐太小学校区	6	2	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1
	三郷小学校区	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	下島小学校区	3	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0
	寺方小学校区	7	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	2	0
	藤田小学校区	5	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	錦小学校区	11	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2
	庭窪小学校区	8	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	橋波小学校区	13	7	2	0	2	7	1	1	0	2	0	0	0	0
	南小学校区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	守口小学校区	10	5	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1
	八雲小学校区	6	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1
八雲東小学校区	2	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
よつば小学校区	9	4	1	0	2	2	0	2	2	1	0	0	0	0	
利用者数	10人未満	7	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	1
	10人以上30人未満	39	11	4	1	1	9	0	3	0	1	0	1	3	4
	30人以上50人未満	19	6	2	1	1	6	0	3	0	2	0	0	1	1
	50人以上100人未満	26	12	2	0	3	7	1	3	1	5	0	0	0	2
	100人以上200人未満	17	6	1	0	0	7	3	1	1	2	1	1	0	1
	200人以上	4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
従業員数	5人未満	19	10	1	1	2	10	1	2	0	4	0	1	2	2
	5人以上10人未満	32	13	6	0	1	7	1	4	0	1	1	2	0	4
	10人以上20人未満	26	4	1	0	1	8	0	2	1	2	0	0	2	2
	20人以上50人未満	28	9	1	1	1	4	1	2	2	3	0	1	1	1
	50人以上	7	2	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0
従業員数 過不足	十分である	27	6	2	1	1	6	0	1	1	2	0	1	4	4
	十分とは言えないが支障はない	48	13	4	0	2	12	2	2	0	5	0	2	1	3
	少し不足している	22	11	2	1	1	10	2	5	2	2	1	1	0	0
	かなり不足している	14	7	1	0	0	4	0	1	0	1	0	0	0	2

行政との関わりについて

問19 市または行政機関との連携は図れていますか。(1つに○)



「十分ではないが図れている」が61.1%で最も多く、「十分に図れている」(17.7%)と「あまり図れていない」(14.2%)が続いています。

		合計	十分に 図れている	十分で はないが 図 れている	い あまり 図れて いな	全く 図れて いない	無 回 答
全体		113	20	69	16	3	5
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	15	45	14	2	3
	障害者施設	16	2	13	0	1	0
	児童施設	15	3	9	2	0	1
小学校区	梶小学校区	9	1	8	0	0	0
	金田小学校区	3	0	2	1	0	0
	さつき学園校区	15	0	10	3	2	0
	佐太小学校区	6	2	2	0	1	1
	三郷小学校区	3	0	2	1	0	0
	下島小学校区	3	2	1	0	0	0
	寺方小学校区	7	1	4	2	0	0
	藤田小学校区	5	3	2	0	0	0
	錦小学校区	11	4	2	4	0	1
	庭窪小学校区	8	3	3	2	0	0
	橋波小学校区	13	2	10	1	0	0
	南小学校区	2	1	1	0	0	0
	守口小学校区	10	0	8	1	0	1
	八雲小学校区	6	0	5	0	0	1
	八雲東小学校区	2	0	2	0	0	0
よつば小学校区	9	1	7	1	0	0	
利用者数	10人未満	7	0	5	1	0	1
	10人以上30人未満	39	5	27	5	1	1
	30人以上50人未満	19	3	12	2	2	0
	50人以上100人未満	26	4	16	5	0	1
	100人以上200人未満	17	6	7	3	0	1
	200人以上	4	2	2	0	0	0
従業員数	5人未満	19	4	12	2	0	1
	5人以上10人未満	32	2	23	5	1	1
	10人以上20人未満	26	3	17	4	2	0
	20人以上50人未満	28	8	15	3	0	2
	50人以上	7	3	2	2	0	0
従業員数 過不足	十分である	27	6	15	3	1	2
	十分とは言えないが支障はない	48	9	33	4	2	0
	少し不足している	22	3	14	4	0	1
	かなり不足している	14	2	6	5	0	1

問20 問19で「3.あまり図れていない」「4.全く図れていない」と回答した場合のみ回答ください。その理由はなんですか。

必要な時にしか行けていない

部会が発足時は参加・出席していたが、まとめ役の市職員が施設の意見を受け流しているような返答しかしない。その後から何のための部会なのかわからないため、あえて連携をとることはなくなった。

交流の場が全く無い。

代行で相談、報告はしているが消極的な回答と行動とを感じる。

地域の困難事例などの地域ケア会議があまり行われておらず事業所にその情報もこない

出先機関と行政の中との連絡が密になっていないことや機関の中でもはなしが通じていないことや知っていないことなど行き届いていない。

守口市での開設ですが、営業をかけてもケアマネ曰く、お付き合いの長いステーション指名であったりするので・・・と依頼件数は現在ゼロ件です。殆どの訪問依頼は門真市にある高齢者住宅で占めておるため、門真市とは相談や連携は図れている。また開業して日も浅く不明な点は各行政機関に出向き、相談や指導を受けながら行っているため、担当者へ足を運ぶ回数が多い

近隣との付き合いがないので、何もよく分かっていないので。

各介護事業者連絡会との連携がうまくされていない。事務局としてして頂かないと、事業者全体に連携しない。国が打ち出している在宅医療と介護の連携がかなり出遅れている。

日々の仕事に追われている。

行政機関とどうやって連携を図ってよいか分からない！

職員と時間が少ない。だめとか言われるから、あまり関わりたくない。職員が子育て真っ只中。年少、小学校低学年の人が多いため、休みの確保ができない。小さな事業所も助けてくれる方法を支援して欲しい。

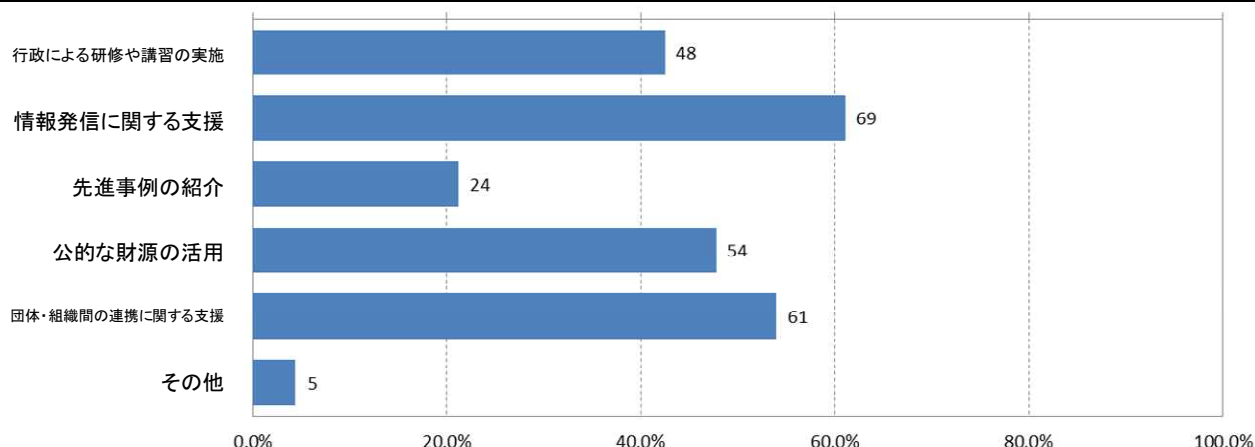
密に連絡できる関係性が薄いと思います。気軽に連絡しにくい。しても対応が冷たく、気まずい思いをしたことがあります。

連携の図りかたがわからない。

地域密着型の居宅サービス施設なので、くすのき広域連合との連携は少々ありますが、市とはありません。どのような連携の形があるのか知りたいです。又考えや方向性等、研修会を定期的を開いて頂き、双方の理解を深めたいです。

ケアマネージャーに聞いて知ることが多いため(わからない事)、どの様な事で連携を取るのでしょうか？

問21 地域福祉の発展のために、行政に求める役割はなんですか。
(あてはまるもの全てに○)



「情報発信に関する支援」が61.1%で最も多く、「団体・組織間の連携に関する支援」(54.0%)と「公的な財源の活用」(47.8%)が続いています。

		合計	行政による 研修や講 習の実施	情報 発信に 関する 支	先 進 事 例 の 紹 介	公 的 な 財 源 の 活 用	に 団 体 ・ 組 織 間 の 連 携	そ の 他	無 回 答
全体		113	48	69	24	54	61	5	6
形態	介護保険施設・老人福祉施設	79	33	48	13	36	41	2	3
	障害者施設	16	8	10	7	8	11	1	0
	児童施設	15	6	10	3	9	8	2	1
小学校区	梶小学校区	9	5	5	3	5	6	0	0
	金田小学校区	3	2	2	0	2	2	0	0
	さつき学園校区	15	7	10	3	3	6	2	0
	佐太小学校区	6	1	4	0	3	3	0	1
	三郷小学校区	3	2	1	0	1	2	0	0
	下島小学校区	3	0	2	0	1	1	0	1
	寺方小学校区	7	5	4	4	5	4	0	0
	藤田小学校区	5	3	3	2	5	3	0	0
	錦小学校区	11	2	6	0	4	4	1	1
	庭窪小学校区	8	4	6	0	4	3	0	0
	橋波小学校区	13	6	9	5	8	9	1	0
	南小学校区	2	1	1	1	0	2	0	0
	守口小学校区	10	4	7	4	4	7	1	1
	八雲小学校区	6	1	3	1	3	5	0	0
八雲東小学校区	2	2	0	0	1	1	0	0	
よつば小学校区	9	3	6	1	5	3	0	1	
利用者数	10人未満	7	4	4	2	3	4	0	1
	10人以上30人未満	39	16	22	12	20	17	1	2
	30人以上50人未満	19	9	13	1	5	9	1	0
	50人以上100人未満	26	10	15	4	11	16	2	1
	100人以上200人未満	17	7	11	3	12	12	1	1
	200人以上	4	2	4	2	3	3	0	0
従業員数	5人未満	19	6	10	4	8	8	0	2
	5人以上10人未満	32	12	17	7	15	17	3	2
	10人以上20人未満	26	16	18	6	11	14	0	0
	20人以上50人未満	28	10	17	4	17	15	2	1
	50人以上	7	4	7	3	3	7	0	0
従業員数 過不足	十分である	27	10	11	6	9	13	0	2
	十分とは言えないが支障はない	48	22	32	11	25	26	2	1
	少し不足している	22	12	14	5	12	16	2	0
	かなり不足している	14	4	12	2	8	6	1	1

問22 地域共生社会の実現に向けて、高齢者のみならず障害者、子どもなど生活上の困難を抱える方への包括的な支援体制の構築を目指して、分野を超えて連携していかなければなりません。そのために、貴事業所の観点で、今後の課題や展望など考えをお聞かせください

介護保険の総合事業が不明瞭。くすのき広域連合としての今後の展望等を知りたい。

多職種や他事業所など横の連携が大切だが、自事業所の業務におわれ行えていない。

高齢障害者の方が安心して住める居場所、老健施設では、在宅復帰という名目で、施設をたらい回しにされている。老健でもリハビリして現状維持で充分だと思います。出来るだけ住み慣れた施設でお世話すべきです。

それは守口市の職員の方々が考えることではないでしょうか？愚問です。事業所の課題に一体何をしてくれるのでしょうか。全く分かりません。以前の問を見て頂ければ理由は分かります。

縦割りではなく、横の連携を取っていただきたい。

障害者や子供の生活困難について知識が乏しい事

いろいろな団体との関わりを持つため、集まりに積極的に参加していきたい。

日常の業務が忙しく、事務局が閉まっていることも多いため、相談(介護保険外)に対応できないことがある。障害者福祉利用者、生活保護世帯の利用者様が多いので各種手続きや提案などの援助を現在も行っている。

守口市が医療と介護の連携ははっきり言ってできていないと思います。私が以前勤めていた東成区は医師会が主体になり「多職種連携会議」を開催し、医療職、介護職の連携をとっていました。又、「在宅医療連携ガイドブック」を作成し、色々な面で進んでました。守口市特に行政が医療会に働きかけていただくのを期待いたします。

当事業所には就労を目指している方々が多数おられますが、なかなか働く場所が無いのが現状です。月に1回程度でもいいので、障害者の方々の働く場所の掲示を守口市役所でもしていただくと幸いです。

目標が抽象的すぎて、わかりにくい。

障害者の高齢化問題は喫緊の課題だと思っています。特に支援区分の高い知的障害に関しては、受け入れる施設が少なく、65才を超えても困難であることが予想されます。そこで今後、高齢者を対象とした知的障害事業所の設立等が必要になると考えています。

顔の見える関係をつくるのが大切な一歩だと感じます。隣近所、自分の住む地域の住民同士がお互いの顔や名前を知り、気軽にあいさつできる町をつくる必要があります。私たちの事業所は地域の社会資源を伝えていく役割もありますので、今後も地域の色々な資源をしつかりと調査、収集して周知していける様に努めていきたいと考えます。

当施設は高齢者対象のサービス事業所であり、障害分野、児童分野の職種の方々となかなか接点がなく各分野の課題や悩みなど情報連携ができていない事が課題です。地域活動として子供向けの健康講座なども行っていますが、なかなか周知されておらず集客も少ないためこの様な講座を対象となる人々へ情報を告知して頂けるとありがたいです。今後については各分野同士で情報交換会などがあれば守口市の福祉職種同士、顔の見える関係をつくり問題共有、解決につながるのではないかと思います。

地元住民が行っている事業ではないので、地域との交流という点でどこに何の話を持って行って良いのか分からないし、今の町会長は営利団体が営業活動をしていると考えているようで、運営推進会議の通知や報告をしても参加もなく、ただ町会費を払っているだけになっている。各活動については営業活動だと身構えられるので、話しても仕方ないと思っている。今後は老人会や他組織とも情報交換したり、今のご時世、知らない人が自由に出入りするリスクもあるので、認知症カフェや体操クラブ的な事から、何か地域への貢献出来る事がないか考えて行きたいと思っている。

親の考え方や環境、事業所へ求めるニーズがすごく多様化し現場では対応しきれない部分も有り、苦勞するところである。柔軟な対応ができるような支援の体制づくりなどがもっと必要だと思う。

連携する場を設けていただければ、参加したいと思う。

高齢者等の移動手段的確保。近くにスーパーがない。一人暮らし・高齢者のみの世帯が多く郵便物の処理、市等への届けでに支援が必要と思われる。施設居位貴(ユニット)が高く利用できない方が多い。

今般の改正社会福祉法において社会福祉法人は、地域生活課題の解決に資する支援を行う関係機関との連携により、その解決を図るよう特に留意すると定めており、共生実現のために寄与できる事業運営を行っていききたい。具体的には、青年期から老年期にかけて、継続した障害の特性に配慮した支援ができる事業に取り組み、特に長年の地域課題となっている障害者高齢化問題の一助となる施設運営を行いたい。現在、本園を利用している利用者には、あと数年で65才を迎える人や、すでに認知症と診断されている人もいる。介護保険に移行するにあたり、引き続き通い慣れた事業所、住み慣れた地域で不安なく「老い」を過ごしていける富山方式と呼ばれている共生型の施設運営を検討していきたい。

連携はとても大事ですが、結局どこが最終的に当事者のこまり事に対応するのか？サービスにないからと言ってどこも手を上げなかったり、本人と付き合いの長い事業所が無償でサービスしているのが現状です。昔であれば施設(11コ)にお金がついていたので、対応できていましたが、今は特定のサービスを受ける人にお金がついている仕組み。問題だと思います。

・人員が不足してきている。・認知症や重度化に対応できる事業所として高度な介護のプロを目指す必要がある。・自立支援に資する援助に努めているが、ケアマネージャーや、ご本人・ご家族との共有が難しい。

何かと共生するのも難しい世の中だと思います。それぞれの考えや感じ方で、良かれと思ってした事でも苦情になる時もあります。そうなるとう積極的に物事をするのが怖くなります。が、そんな事ばかり言っておられないので、頑張って連携に努めます。

地域共生社会について、組織？どのような組織や団体があって、何をしているのか、どのようなやり方や方法があるのかも分からない状況である。行政主導で行われている情報もなにもない状況ではないかと思われま。まずは、行政と事業者の意見交換からスタートしてはどうでしょうか？

1. より地域との共生を積極的に図り、介護、福祉に関わる連携を図っていける事業所を目指したい。2. 安心して生活出来る地域社会への貢献。3. より適正な人材を確保。

平成30年度より、公立3園になっていく中で、子育て支援(地域開放)の充実や地域に根ざした園づくり、そのためにはどう関わっていくのか、考えていく必要がある。

町内会長、自治会長等の方との連携が図れる。地域の情報を良く知っているの、個人情報の保護の観点から難しいところもありますが、。独居の方を孤独死から守るには必要なことだと感じています。

難しいです。子どもを預かっていますので、色々考えすぎると敬遠してしまっているのかな…とってしまいます。以前、老人施設の訪問を計画しましたが、インフルエンザが移るといけない…等言われ、断られたことがありました。保育時間内に交流することが難しい気がする。続けていけるといいのですが、子どもたちが小さいので提供するのが難しいです。

地域密着や住民が力を合わせて暮らしていこうというのはいいと思います。そのやり方が、果たしてどういう風に関わっていけばいいのか？みんなが今はまだ他人まかせ。法律が改正され(H28.4月)国→府→市→地域コミュニティ協議会→事業所→住民・利用者 そんな流れを短期間で、事業所から反対の流れに連絡する必要性があったが、市から何も連絡がないから動けない。一事業所から言われても…ということがあり、大変でした。ちゃんと上から順番に周知して欲しい。ボランティアが当たり前と言われているが、スタッフが子育て世代なのでなかなかできない。もっと給料をあげることができればいいが、なかなか収入も上がらない。ケアマネ主体は難しい。社協や包括が、法の溝の人たちにも手を差し伸べれる世の中にした。豊中市の社協のようなシステムが守口にあってもよいのではないかな。緊急時は個人情報を開示して欲しい。

日頃の関わりが大切になってくるのではないかと思う。互いが知り合いの関係になることで、安心した生活、環境で共存できるのではないかと考える。

介護保険施設としての役割は充分に解っているが、その他の分野の施設とどう関わり方をしているか、まだわからない。時間的制約・人材(人員)の制約もある。相互理解を深める等は理解出来るが、現実ともなると利用者様が理解してくれるか、又賛同いただけるか疑問がある。

行政が縦割りであるように、現場の人達も縦割りになっている。高齢者を対象として働いている人は、障がい者のことや、子どものことは知らないと言うことが多い。お互いのことを知る大切だと思います。

市が住んでいる方への理解が薄いと思います。もう少し一人一人の生活に深く踏み入ることが大切だと思います。

支援を続ける中で家庭内のことが解ることが多く、時には相談に乗り、その関連性のある所を紹介し、ケアマネとも相談しながら解決への道を考えています。認知症の方もおられ、時々迷っている方を見ると声掛けをして対応します。

今年度でこの職場がなくなり、新しい法人の方々にH31年度から再びスタートしていくことになるので、地域のつながりを大切に運営していきたい職場になるよう繋げていくことがこれからの課題だと感じている。

入所希望はあるが、長期入所のベッドはほぼ満床状態、短期入所のベッドには空きがある状態だが、長期入所の希望が多くベッド管理に苦労している。

保育園、デイ施設、老人会(コミュニティセンター)など各種の交流会が必要。

各分野についての中身がまだよくわかっていないので、他の分野について、内容や考え方について知っておくことが必要だと思います。ただ、対象を特化した各分野の幅広い連携の形を作っていくことを考えた際に、それを取りまとめる機関が必要だと思いますし、どの機関がそういう役割をするのが課題だと思います。

児童施設として子育て支援に取り組んでいるが、守口市の個人情報保護との観点から正確な情報が入らず対応に苦慮することがある。今後、市と連携して子育て支援を実施するにあたり、それぞれのケースにより市は施設に必要な最小限の情報を提供すべきであると考え

る。

障害者自立支援。就労継続支援A型ですが、利用者さんへの目。ここはどんな所なのかと・・・何をしているのか知ってほしくて、定期的に曜日を変え、カフェを開いたり、交流を図ろうとチラシ配りしていますが、誰も来られません。

私が勤務している定期巡回・随時対応型訪問介護の場合は要介護者のみが対象となり、他のヘルパーステーション利用と合わせて使うことが出来ないため、時間的・内容的に十分なケアが出来にくい場面があります。制度や分野を超える事が出来ない部分を強く感じています。サービスはその本人様対象となるため(共有部分)の掃除や他のケアが本人のみと限定される。老老介護の場合、介護者の負担がまだまだ大きいと感じる。

現時点で当事業所がどの様に連携できるか不確定ですが協力してゆきたいと考えます。

独居の高齢者の所在の把握の必要性和継続的な社会的関わりを持つよう、地域が包括的に対応していく必要がある。また、中学生以下の子どもに高齢者との関わりを持たせる機会を作ると、双方にとっていい刺激になるのではないかと思う。

地域との関わりは持って行こうと考えていますし、地域福祉に貢献したいと思います。まずは当事業所に通われている利用者家族が安心して頂けるサービスに取り組んでいます。

いろんな方の困窮を防ぐ為に分野にとらわれず、交流を図ったり、また利用に関しても同一内で利用できたり垣根を越えていけたらと思う。

問23 その他、市へのご意見・ご要望などございましたらご自由にお書きください。

ゴミ出しの困難な人が利用できる回収サービスがあれば助かる。

介護保険法改正等があればもっともっと早く情報なり通知等がほしい

自事業所の業務が多忙でなかなか行けないので、申請物などの郵送、FAX など申請がしやすくして欲しい。

保育の無償化は政策としてはすばらしいと思いますが、このことにより利用申請が増加し、小規模保育園の乱立が予想される。この為必要となるのは連携施設の確保であるが、既存園においてはこれ以上受入枠を増加するのは困難である。特に小規模保育園の増設においては計画的に進めて頂きたい。

福祉関係への取組、情報発信をお願いします。

西端市長様 私共は守口に住み、守口の事業者である訳ですが、守口市の箱物行政や教育改革をされているのは市として価値を高めているとは思いますが。しかし福祉は人として尊厳しあえるシステムの構築をしなくてはならず、福祉利用者の観点で職員と課題検討しなければ、本当の改革とは言えないのではないのでしょうか？「自己満足」に終わらないで欲しいです。生意気な意見で大変申し訳ありませんでした。御清聴ありがとうございました。

役所の部署ごとの連携がスムーズにいくと便利。

28年7月よりある高齢者が訪ねてくる。多い時は週2回、1回30分～1時間程、自身の昔、今困っている事、体調、同居の家族とのやりとりなどを話す。“困っている事”を何とか提案するがその提案には乗らないが、困っている訴え、時には暴言を受けたり等もあり、包括、高齢課、警察にも相談くり返すが本人の愚痴と判断される様になっている。現在も少し回数時間(滞在)は少なくなっているが、訪ねて来られこちらの空気を察する事が出来ないで、対応に苦慮している。主治医、クリニック(本人通っていると申告)にも相続するが、各自の立場での回答、認知症への対応、地域共生社会に向けてなど守口市は本当にどの様に思っているのかと疑問を抱いています。

地域にある居宅介護事業所や介護サービス事業所などに対して気軽に誰でも相談できることを市の公報などで案内していただければと思っております(地域包括支援センターと同様)。長年の専門職としての経験などを地域の人達に対して生かせたら・・・と望んでおりますが、こちらからなかなか積極的に「どうぞ、どうぞ、来所ください」と宣伝できにくいところがあります。私達も今後は自覚をもって地域にもっともっと溶け込むようにしていきたいと考えております。

問22で記入したようにどこにどんな話を持って行けば良いのかという事業所と地域のマッチングのお世話をお願いしたい。介護保険の事業所として各種提出書類をくすのき広域連合本部窓口を持って行っても、担当者がいないので分からない。担当者に質問しても分からないという事が最近多い。市から見た事業者の問題点や課題、間違いやすい注意点等事業所向けの勉強会、研修会の開催を望みます。

訪問看護ステーションの現状(新規)が変わりますか？

総合事業について 各包括支援センターでの対応が統一されていない。説明が難しく理解されていない方もいる。

共生社会を目指していく中で、守口市は生活困窮者、高齢者の一人暮らし、ひきこもり等、将来の生活について多くの不安を抱えておられる方が増加している。地域のコミュニティが希薄になりつつある現状で守口市(行政)も相談支援体制の中核部分をしっかりと担っていただきたい。諸事業の民間委託化は今後も進められると思うが、共生社会を目指すにあたり市が中心となり「我が事」としてネットワーク作り等を推進していただきたい。

現場を知らない人が計画をたてても絵に書いたモチになるので、もっと当事者や施設事業者の人など現場を見てもらえたらと思います。お願いしたり、されたりとの関係でなくお互いにホンネで話をし、一緒に守口の未来を作っていけたらと思います。

守口が地域共生社会になり、丸ごとつながるようなイメージとしては、受け手と支え手を把握して、問題を整理し、よりよい解決へと導くプロフェッショナルなチームが必要ではないでしょうか。市役所のなかに枠や垣根を越えた課ができて、オープンなテーブルやオープンな運営をして頂けたらと思います。(業界のOBや適任者を必要な人員を加えて雇用する)

生活保護受給者との関わりは良くあります。その中でも仕方がないと思える人達と、そうは思えない人がいます。通報するのも気が引けます。いつもモヤモヤしている事です。ギリギリの所で節約し細々と生活されている方達を見ると不公平を感じます。

29年6月にスタートしたところで、何もかもこれからです。

守口市とくすのき広域連合との役割について理解できない事が多くあるのが現状ではないかと思われます。役割分担の交通整理が必要なのではないでしょうか？

介護保険法のルールを役所の職員は知らない方が多く、いつも特定の人に負担がかかっていると思います。誰に聞いてもある程度、質問に答えられるように人材育成をしていただきたい。

守口市は保育料無償化を実現しましたが、それで将来子どもたちは立派な大人になるのでしょうか。もっとゆっくり育ててあげてもいい気がしています。そして財源も大丈夫か心配。大阪市のように3歳からでも良かった気がしてなりません。オムツをとれない母親が増え小規模園をたくさん作っていったらどうなるの？親の愛を感じられない子、子どもの成長をもっと身近に喜べる親であってほしい。仕事のことばかり考えている親達。補助金の出し方をもっと考えてみるべきだと思います。

法律の改正の頻度が多すぎる。住民、市職員、事業所も大変。国からおりてきた内容を誰も知らないのは大変でした。今は介護保険も3年に1度ではなく、10～15年くらいにして欲しい。市の職員さんも間に挟まって大変だと思います。保育料無料→住民増加、子ども増加→保育園の数増加なし→待機児童増加→いつ改善？(10年後くらいに?)その間は苦情なども大変だと思います。変革のときはみんな大変だと思いますが、お互い頑張りましょう。

連絡、情報の送受信のインフラがまず必要だと思います。いかにネットワーク作りをするかが課題であると考えます。

指定地域密着型サービス事業所を営んでおります。①今後の小規模のデイサービスに関する公募は何を基準に募集していくのでしょうか。②指定居宅サービスの新設申請の増加に関して、今後も規制せず、自由競争として、サービスに関する基準の監督に留める予定なのか。既存の居宅施設のスキルアップを促し、図りながら、くすのき広域連合区内の利用予測対象者数に合わせ、施設増加を規制しているのか。どちらでしょうか。

福祉に関わる資源を増やして欲しいと思います。(ショートなど)

提出書類が多すぎるので、出来るだけ簡素化を図ってほしい。手続きなど簡略化になってほしい。

町会や校区福祉委員会といった地域の組織の実情の情報にアクセスしやすい環境を作っていただけるとありがたいです。
